

議会報告会報告書

平成24年10月31日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

C班

代表 衛藤弘光

平成24年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成24年10月24日（水）19:00～20:35

2 開催場所

厚陽公民館

3 参加人数（市民）

19人

4 担当班議員名

（ 衛藤弘光 ）（ 中島好人 ）（ 石田清廉 ）（ 河崎平男 ）
（ 硯谷篤史 ）（ 小野 泰 ）（ 三浦英統 ）（ 吉永美子 ）

5 報告会次第

- (1) 市議会議長挨拶
- (2) 9月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - ④ 一般会計決算審査特別委員会
- (3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 水道を引いた後の道路の管理について、責任は水道局にあるのか、土木課の責任か。綺麗になったら掘り返す状況で、このことは、前回の議会報告会でも発言している。監督をきちんとしてほしい。

[回 答] 瑕疵が無ければ1年間は水道局の責任で、瑕疵があれば、水道局がずっと改修を行う。その際は、道路管理者が水道局に申し出る。

- ② 本日の本会議の継続審査について、議長は「継続に賛成の方は起立願います」のみではなく、「質疑はありませんか」と諮るべきではなかったか。

[回 答] 定数20人の是非を問う場合は、質疑・討論があるべきだが、委員会が継続審査と決した場合、質疑はない。

- ③ 監査請求について、委員会で議論が尽くされていない。審査権の放棄にならないか。

[回 答] 9月27日及び28日に所管事務調査をしたが、審査段階での疑惑がある。また、人件費における法人の契約の仕方について疑義があっても、法人を呼んで聞くことができない。引き出す内容に限界があり、監査を請求した。

- ④ 監査委員に捜査権はない。ごみ処理施設の方が監査請求に値する。100条に値するかどうか、覚悟がうかがい知れない。

[回 答] 委員会でも100条の話は出たが、今回は監査請求にした。

- ⑤ 旧厚陽中学校校舎の解体について、計画があるだけで何もできていない。野球部のグラウンド等の管理などをボランティアで行うにも限度がある。執行部に何回お願いしても結果が出ていない。予算を取ってほしい。

[回 答] 事実関係をはっきりさせたうえで、議会で進言していく。

- ⑥ 新ごみ処理施設について、落札率95.9%は高いのではないか。また、業者の選定だけでなく、工期に無理はなかったのか。

[回 答] 基本5項目を踏まえて設計・施工を一括で行う性能発注方式。当初6社選定、後に4社辞退、残る2社、技術審査の段階で1社辞退、43億6,065万円で

落札。1 社入札は法的手順において何の問題なし。

- ⑦ 安心キットについて、シールを玄関に貼るとのことだが、訪問販売被害の問題がある中で、表に貼ると高齢者の一人暮らしだとわかるのではないか。

[回 答] 玄関の内側に貼ると決まっている。

- ⑧ オートの決算について、5 億 8,210 万 5 千円の赤字なのに、続けないとはいけな
いか。

[回 答] やめたくてもやめられない状況にあるが、毎年 1 億 1 千万円が日本ト
ーターから入り、少しずつ赤字が減っている。

- ⑨ 高泊公民館で出た意見について（要望）

「少子高齢化で税金を納める人が少ない。歳入に見合う支出にしていくため、議員数、職員賃金も下げるべき。」との意見だった。問題は、歳入減の原因を明らかにすることだ。現状を維持するべきと考える。展望を示せるような働きをしてほしい。